

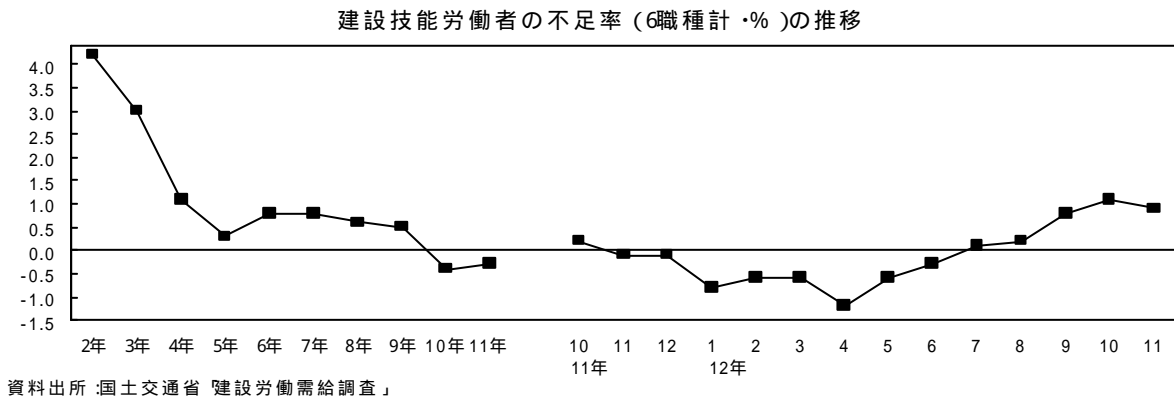
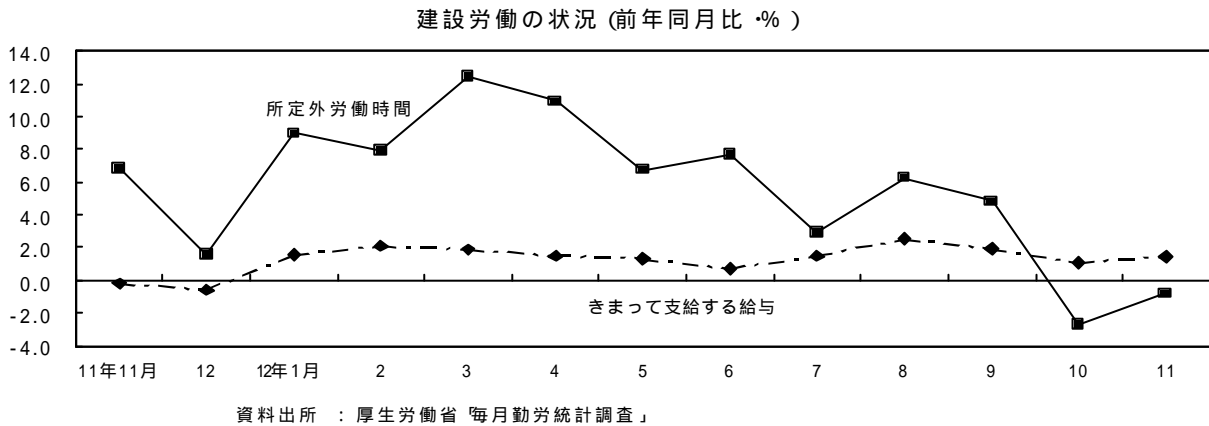
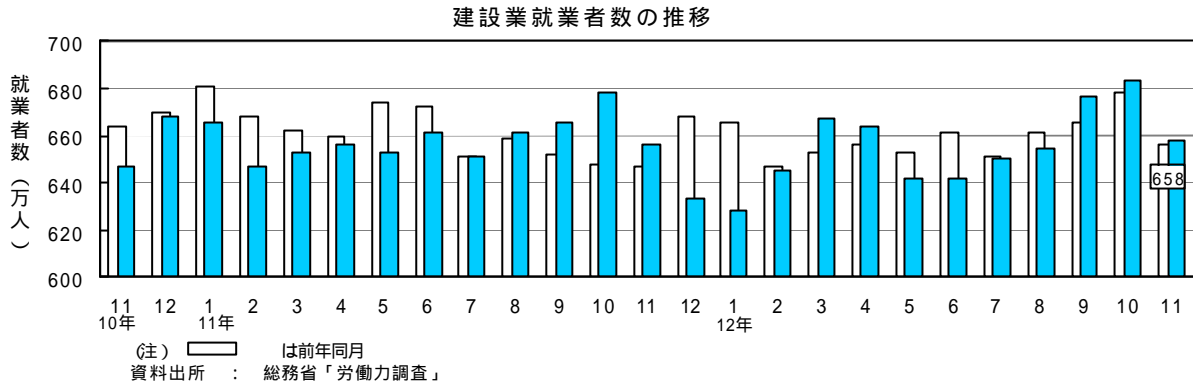
3. 関連経済指標の概況

(1) 雇用情勢

11月の建設業就業者数は、前年同月比0.3%増(2万人増)の658万人となり、3カ月連続の増加となった。うち、雇用者数は、538万人で前年同月比0.4%減と前月の横這いから再び減少となった。、常雇は3カ月連続の増加、臨時雇は5カ月連続の増加、日雇は9カ月連続の減少となった。

11月の建設業(常用労働者5人以上の事務所)の賃金指数(きまって支給する給与)は前年同月比1.5%増となった。総実労働時間指数は同0.1%減、所定外労働時間は同0.8%減となった。(以上速報値)

11月の建設技能労働者の不足率(対象6職種計)は+0.9%(前年同月比+1.0ポイント)となった。



(2) 建設資材の市場動向

建設財の生産指数(11月速報,季調済)は83.9で、前月比2.3%減と下落。出荷指数は同1.1%減、在庫指数は同0.7%減となった。

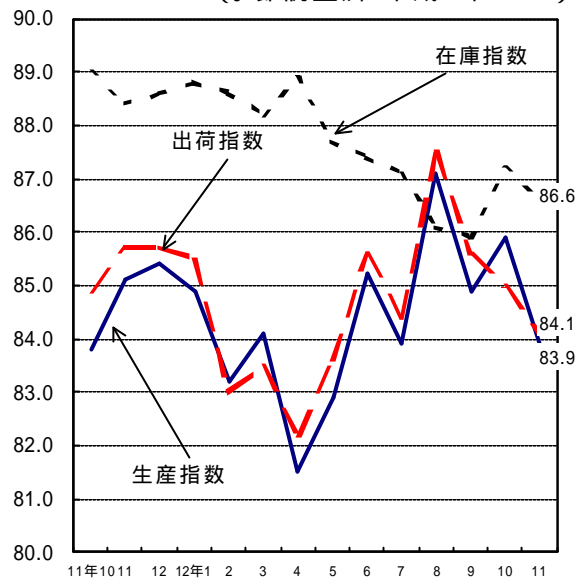
建設用材料の総合卸売物価指数(12月)は97.9(平成7年=100)で前月比0.3%の上昇となった。

建設財の生産・出荷・在庫
(季調済前月比、%、11月速報値)

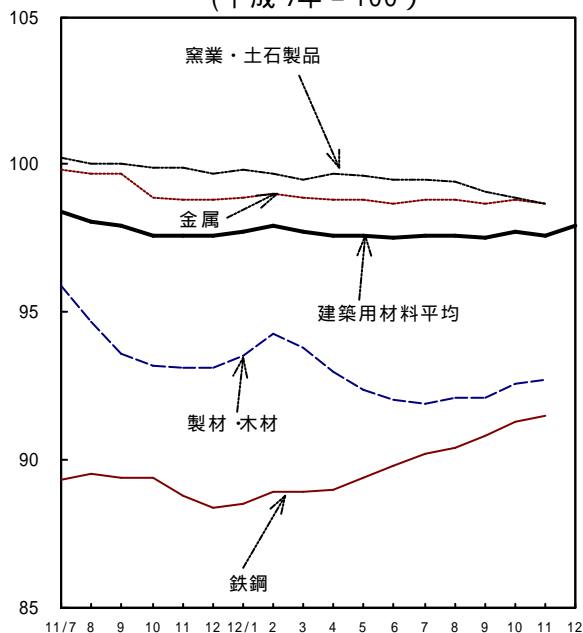
		生産	出荷	在庫
建設財		2.3	1.1	0.7
10月 月 確 報 値	鉄鋼	2.4	0.5	4.8
	金属製品	4.1	0.9	3.9
	窯業・土石製品	0.9	1.8	0.8
	木材・木製品	0.7	0.6	0.7
建設財(前年同月比)		1.5	1.9	2.0
(参考)鉱工業		0.8	0.3	0.7
(参考)鉱工業(前年同月比)		3.2	2.6	1.2

資料出所：経済産業省「生産・出荷・在庫指数」

建設財の生産・出荷・在庫指数
(季節調整済・平成7年=100)

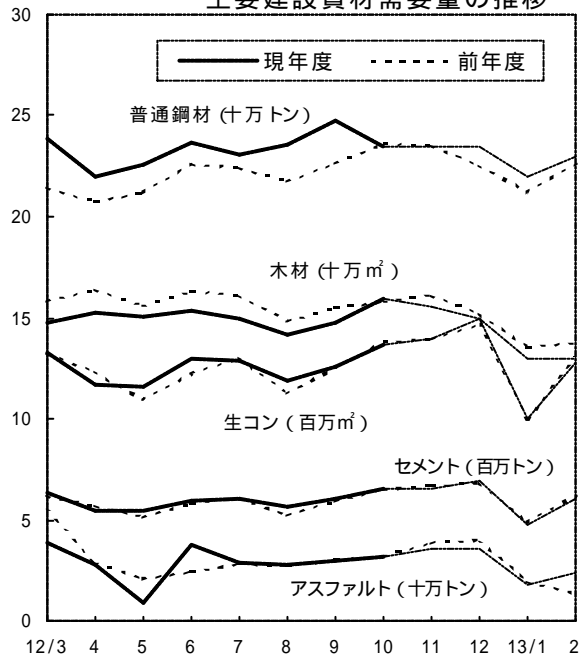


建設用材料卸売物価指数
(平成7年=100)



資料出所：日本銀行

主要建設資材需要量の推移



注)直近4~5カ月間の細線は予測値
資料出所：労働資材対策室